付属品

設置や接続の前に、まず付属品をお確かめください。〈　〉は個数です。

□電源コード〈1〉（☞13ページ）	□リモコン〈1〉 □単3形乾電池〈2〉（☞12､16ページ）	□バンド〈2〉（☞13ページ）	□取扱説明書（本書）
（品番：K2CG3DH00034）	（品番：EUR646534）	（品番：TMME203）	（品番：TQBA0417）
□3P-2P AC変換器〈1〉（☞18ページ）	□フェライトコア中〈2〉（☞13ページ）	□フェライトコア小〈1〉（☞13ページ）	
（品番：K2DF63D00001）	（品番：JOKG00000054）	（品番：JOKF00000018）	

□据置きスタンド〈一式〉（☞11ページ）

（品番：TY-ST65DX300）

据置きスタンドは別に梱包されています。
据置きスタンドに付属している説明書に従って、組み立ててください。

- 付属品の品番は予告なく変更する場合があります。（上記品番と実物の品番が異なる場合があります。）
- 付属品を紛失された場合は、お買い上げの販売店へ上記品番でご注文ください。（サービスルート扱い）
- スピーカーは別売です。ビデオデッキなどとの接続コード類は別売です。

愛情点検 **長年ご使用のディスプレイの点検を!** ディスプレイを長期ご使用になりますと、内部の油煙、スス、ホコリ等の堆積によって故障する場合があります。

このような症状はありませんか
- 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- 映像が連続してチラついたりユレたりする。
- ジージー・パチパチと異常な音がする。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。
- 内部に水や異物が入った。

ご使用中止 故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店にご相談ください。

便利メモ おぼえのため記入されると便利です。	お買い上げ日	年　月　日	品番	TH-65DX300
	販売店名		お客様ご相談窓口	
		☎（　）　－	☎（　）　－	

松下電器産業株式会社　映像・ディスプレイデバイス事業グループ
〒567－0026　大阪府茨木市松下町1番1号

© 2004 Matsushita Electric Industrial Co., Ltd.（松下電器産業株式会社）All Rights Reserved.

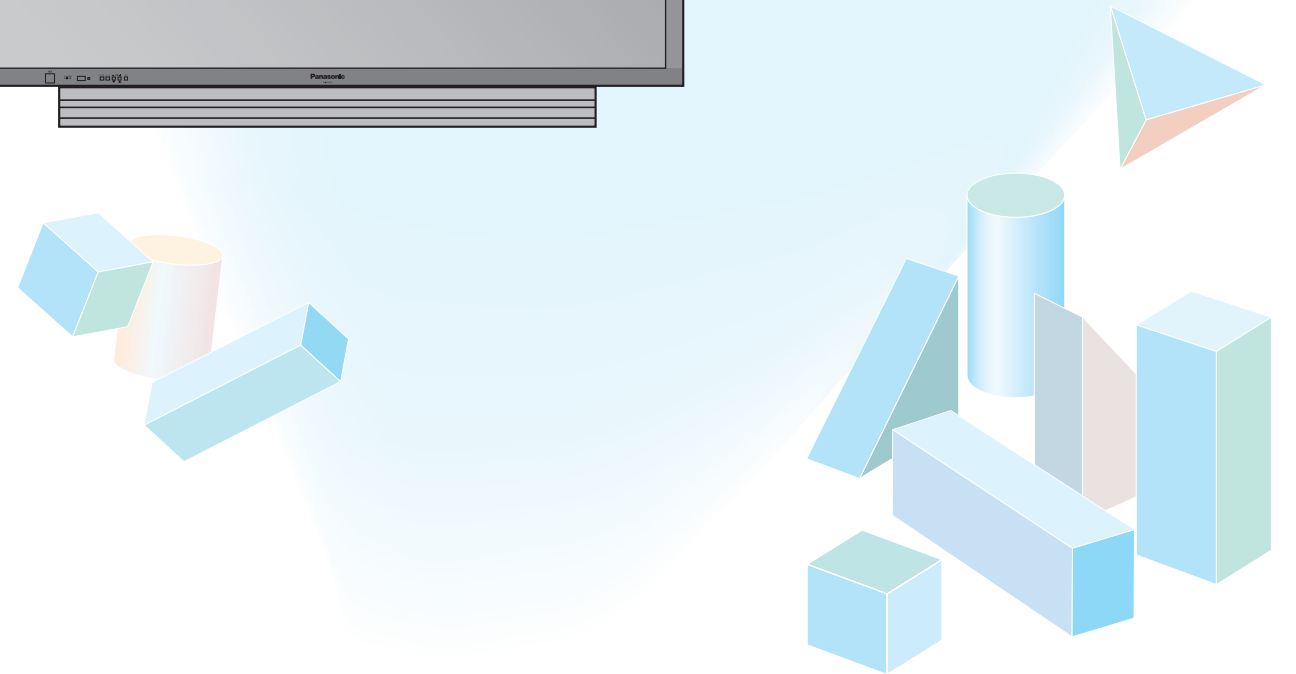
S0904-0

Panasonic　ハイビジョンプラズマディスプレイ　取扱説明書

Panasonic

取扱説明書

ハイビジョンプラズマディスプレイ

品番 **TH-65DX300**
（65V型）

このたびは、パナソニック ハイビジョンプラズマディスプレイをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

保証書別添付

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
  特に「安全上のご注意」（4～8ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。
  お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
  保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。
- 製造番号は安全確保上重要なものです。
  お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

上手に使って上手に節電

TQBA0417

もくじ

ご使用前に

使いかた

必要なとき

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」です。

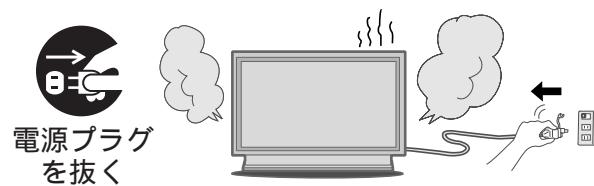
■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

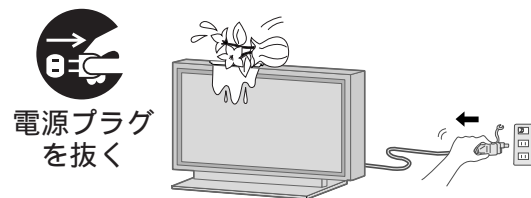
△	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意」内容です。
⊘	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
●	このような絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です。

警告

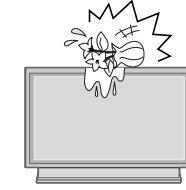
異常が発生したときはすぐに使用をやめてください。

そのまま使用すると火災・感電の原因となりますので、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。

■故障（画面が映らない、音が出ないなど）や煙が出ている、へんな臭いや音がしたら電源プラグを抜く！
電源プラグは容易に手が届く位置の電源コンセントをご使用ください

煙が出なくなるのを確認して修理を販売店にご依頼ください。
お客様による修理は危険ですから、おやめください。

■内部に異物や水などの液体が入ったり、本機を落としたり、キャビネットが破損したら、電源プラグを抜く！

警告

■上に水などの液体の入った容器を置かないでください

水ぬれ禁止

水などの液体がこぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。
（花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの液体の入った容器）

■異物を入れないでください

禁止

通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。
● 特にお子様にはご注意ください。

■風呂場、シャワー室では使用しないでください

水場使用禁止

火災・感電の原因となります。

■壁掛け工事は、工事専門業者にご依頼ください

工事が不完全ですと、死亡、けがの原因となります。

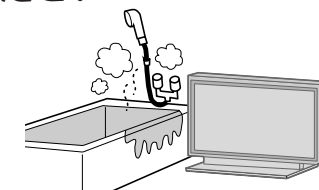
● 指定の取り付けユニットをご使用ください。

■アースは確実に行ってください

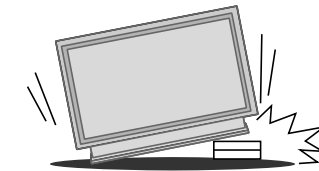
本機の電源プラグはアース付き3芯プラグです。
機器の安全確保のため、アースは確実に行ってご使用ください。

感電の原因となります。
● アース工事は専門業者にご依頼ください。
● AC変換器は18ページを参照。

■雷が鳴りだしたらアンテナ線や本機には触れないでください

接触禁止

感電の原因となります。

■不安定な場所に置かないでください

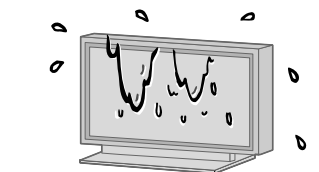
禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など倒れたり、落ちたりして、けがの原因となります。

■ぬらしたりしないでください

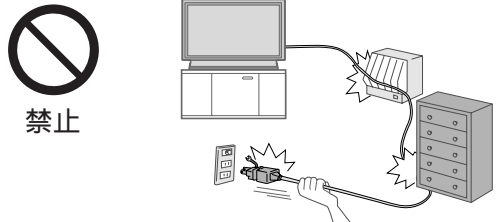
水ぬれ禁止

火災・感電の原因となります。

ご使用前に

安全上のご注意 (必ずお守りください)

⚠警告

電源コードについて

■電源コードや電源プラグを破損するようなことはしないでください

傷つけたり、加工したり、重いものをのせたり、加熱したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っぱったりすると芯線の露出、ショート、断線により火災・感電の原因となります。

● 電源コードやプラグの修理は、販売店にご依頼ください。

■電源プラグは根元まで確実に差し込んでください

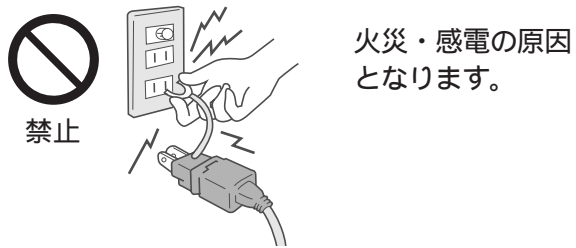
差し込みが不完全ですと感電や、発熱による火災の原因となります。

● 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

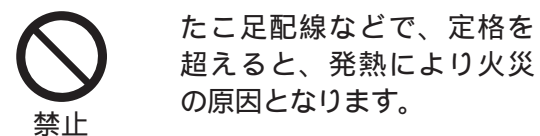
■アース端子を電源コンセントに差し込まないでください

火災・感電の原因となります。

■電源プラグにほこりがたまらないよう、定期的に掃除をしてください

湿気などで絶縁不良になり火災・感電の原因となります。
電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください

感電の原因となります。

■コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外では使用しないでください

たこ足配線などで、定格を超えると、発熱により火災の原因となります。

■裏ぶた、キャビネット、カバーを外したり、改造しないでください

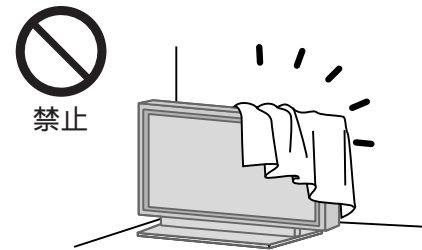
内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となることがあります。

高圧注意
サービスマン以外の方は、裏ぶたをあけないでください。
内部には高電圧部分があり、
万一さわると危険です。

「本体に表示した事項」

● 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

⚠注意

■本機の通風孔をふさがないでください

内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがありますので次の点にご注意ください。

● 本機は上面、左右は10cm以上、下面は6cm以上、後面は7cm以上の間隔をおいて据えつけてください。
● 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込まないでください。
● テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや、布団の上に置かないでください。
● あお向けや横倒し、逆さまにしないでください。

■湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かないでください

調理台や加湿器のそばなど火災・感電の原因となることがあります。

■本機に乗ったり、ぶらさがったりしないでください

倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

● 特に、小さなお子様にはご注意ください。

■電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください

コードを引っぱるとコードが破損し、感電・ショート・火災の原因となることがあります。

■本機にぶらさがったり、脚立を立てかけるなどしないでください

落下してけがの原因となることがあります。

■電池を入れるときには、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意してください

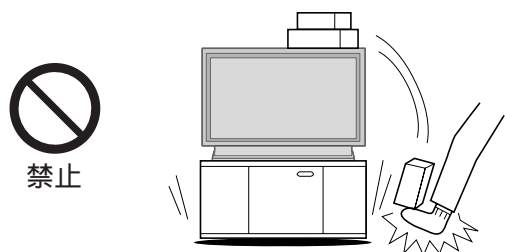
機器の表示通り正しく入れてください。
間違えますと電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

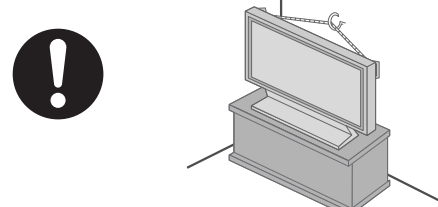
■新しい電池と古い電池を混ぜたり、指定以外の電池を使用しないでください

間違えますと電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

安全上のご注意 必ずお守りください

⚠注意

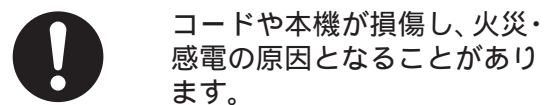
■上に重い物を置かないでください

倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

■据置きスタンドをご使用になるときは、転倒防止の処置をしてください

地震やお子様がよじ登ったりすると、転倒しけがの原因となることがあります。

■接続ケーブルの処理は確実に行ってください

ケーブルを壁面に挟んだり、無理に曲げたり、ねじったりされますと、芯線の露出、ショート、断線により、火災・感電の原因となることがあります。

■移動させる場合は、接続線をはずしてください

コードや本機が損傷し、火災・感電の原因となることがあります。

- 電源プラグやアンテナ線、機器間の接続線や転倒防止具をはずしたことを確認のうえ、行ってください。
- 開梱や持ち運びは2人以上で行ってください。
- 本機に衝撃を与えないでください。

■接続ケーブルを引っぱったり、ひっかけたりしないでください

倒れたり、落ちたりしてけがの原因となることがあります。

- 特にお子様にはご注意ください。

■1年に一度は内部の掃除を販売店にご依頼ください

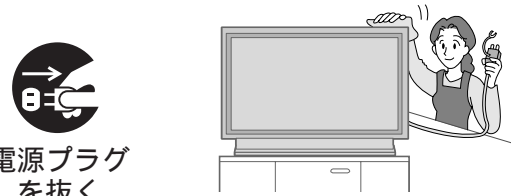
内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用については販売店にご相談ください。

■長期間ご使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください

電源プラグにほこりがたまり火災・感電の原因となることがあります。

■お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください

感電の原因となることがあります。

お手入れ／上手な使いかた

お手入れについて

■汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください

キャビネットのひどい汚れやガラス面に付着した指紋汚れなどは水でうすめた中性洗剤に布をひたし、かたく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。水滴が内部に入ると故障の原因になる場合があります。

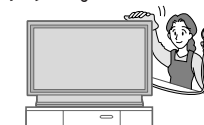
■殺虫剤、ベンジン、シンナーなど揮発性のものをかけない

キャビネットの変質や塗装がはがれます。
また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させない。
（キャビネットの変質の原因）

■洗剤を直接本機にかけない

水滴が内部に入ると、故障の原因になります。

■ディスプレイパネルの前面は時々柔らかい布でふく

ほこりが付きやすい。

お知らせ

- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- ディスプレイパネルの表面は特殊な加工をしています。固い布でふいたり、強くこすったりすると表面に傷がつく原因になります。
- ディスプレイパネルは、ガラス製です。強い力や衝撃を加えないでください。

設置されるとき

■直射日光を避け、熱器具から離す

キャビネットの変形や故障の原因になります。

■本機を設置するとき

振動がなく、本機の質量に耐えられる場所に設置する。
指定の取り付けユニットをご使用ください。

■本機を移動されるとき

ディスプレイパネル面を上または下にしての移動はパネル内部の破損の原因となります。

■機器相互のかんしょうに注意

プラズマディスプレイの影響を受けて、ビデオやラジオ等の映像や音声に雑音が入ったり誤動作する場合があります。（発生した場合はディスプレイ本体から十分離してご使用ください。）

■接続は電源を“切”にしてから

各機器の説明書に従って、接続してください。
（オーディオ機器、録画機器、オーディオアンプなど）

■赤外線通信機器をご使用になるとき

赤外線通信機器（赤外線コードレスヘッドホンや赤外線ワイヤレスマイクなど）をご使用になると、通信障害（ノイズなど）が発生する場合がありますので、影響のない所まで本機より離すかプラズマディスプレイの光が入らないように機器の受光部を設置してください。

■見る距離と部屋の明るさは

画面の縦の長さの約3倍程度、また新聞が楽に読める明るさで。

ご使用になるとき

■適度の音量で隣り近所への配慮を

特に夜間は小さな音でも通りやすいので、窓を閉めたりして生活環境を守りましょう。

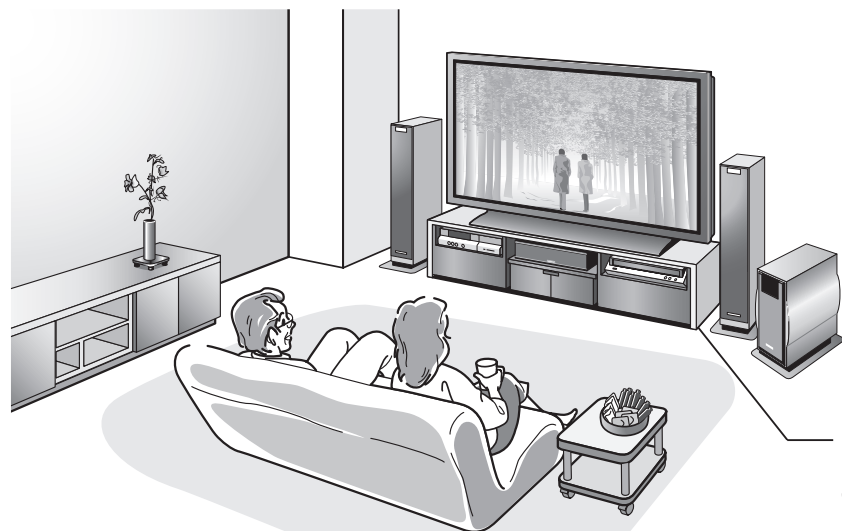
■長時間ご使用にならないときは

電源プラグをコンセントから抜いておいてください。リモコンで電源を切った場合は約1.0W、本体の電源を切った場合は約0.3Wの電力を消費しております。

■本機は残像が発生することがあります。

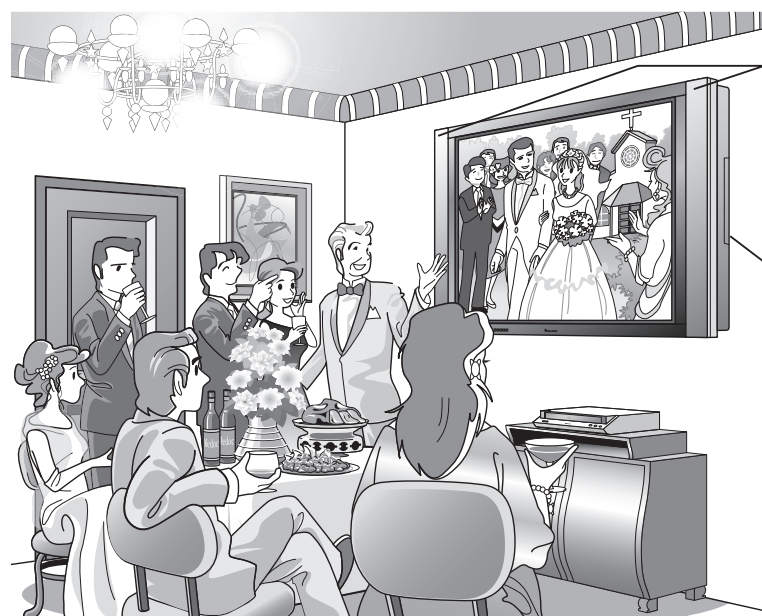
画面モードを「ノーマル」（映像の縦横比4：3）で長時間ご覧になると、映像の表示部と両端の映像の映らない部分とで画面の明るさが異なるため、残像（焼き付き現象）が発生します。
画面モードをジャストやフル、ズームにしてご覧になると軽減されます。（ふだんは35ページのサイドパネル設定を「高」でご覧ください。）
静止画や静止文字を長時間表示した場合、同様に残像が発生します。この場合は、動きのある映像でしばらくお使いいただくと、少し軽減されます。

設置例

■据置きスタンド（付属）でローボード（別売品）に設置するとき

●図のホームシアター（スピーカーなど）は、別売です。

ローボード（別売品）

品　番　TY-VL1000

■壁掛け金具（別売品）で設置するとき

スピーカー（別売品）

品　番　TY-SP65DX300

壁掛け金具（別売品）

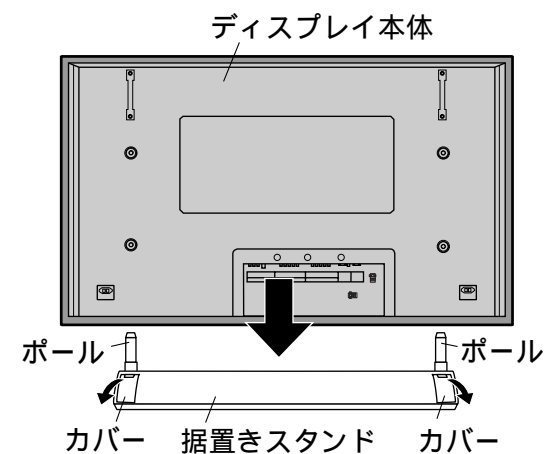
品　番　TY-WK65PV7

- **本機は、ディスプレイです。**
  テレビ放送をご覧になる場合は、チューナーまたはチューナー内蔵の録画／再生機器などを接続してください。また、DVDやビデオをご覧になる場合は、録画／再生機器を接続してください。
- **本機にはスピーカーは付属しておりません。** 本機で音声をお楽しみになる場合は、専用スピーカー（別売品）を接続してください。音声に関しては、本機をご利用にならずに、別売のホームシアターをご使用いただくこともできます。
- 記載の品番は2004年10月現在のものです。

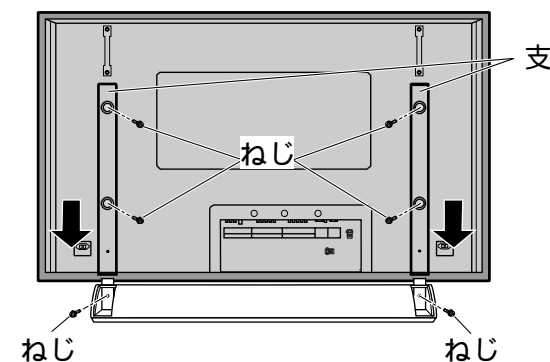
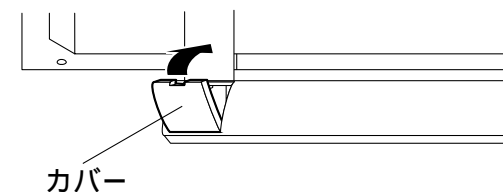
お願い

- 壁掛けの取り付け工事は、性能・安全確保のため、必ずお求めの販売店または専門業者に施工を依頼してください。
- 据置きスタンドの説明書をよくお読みのうえ、必ず転倒防止の処置をしてください。
- 設置時、衝撃などによる「パネルの割れ」が発生する場合がありますので、取扱いにはご注意ください。

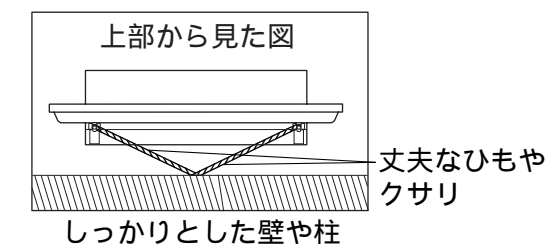
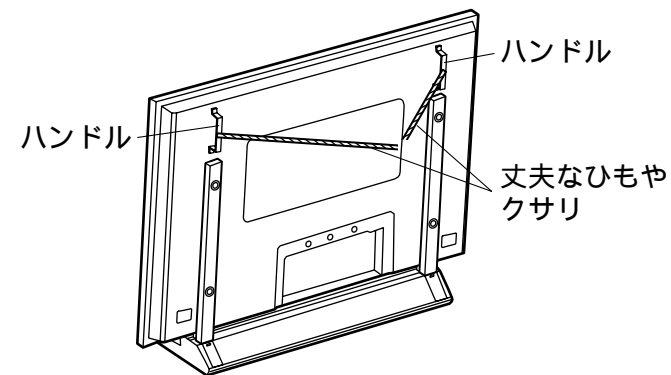
据置きスタンドの取り付け（付属）

まず、据置きスタンドに付属の説明書をよくお読みになり、スタンドを組み立ててください。

①スタンドにポールを取り付ける。
（据置きスタンドの説明書をご覧ください。）

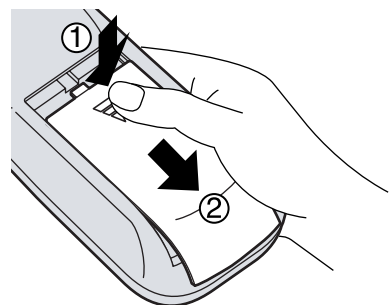
②本体をスタンドのポールに、はめる。

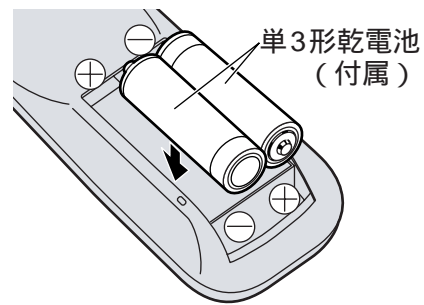
③スタンドのカバーをはずす。（2ヵ所）

④2本の支柱を取り付け、それぞれに、
本体と2ヵ所、スタンドと1ヵ所、ねじで固定する。

⑤カバーを取り付ける。（2ヵ所）

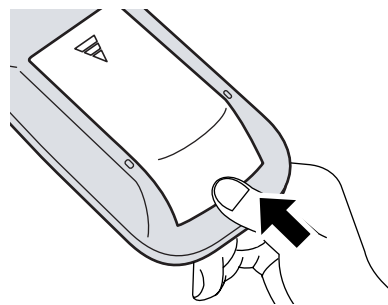
転倒防止

据置きスタンド（付属）を使って本機を設置する場合は、安全確保のため転倒防止をしてください。

本体のハンドルをじょうぶなひもやクサリで、しっかりした壁などにつないでください。

リモコンの電池の入れかた

1 ふたをあける

ふたの ▽ マークが付いているところを少し強めに押さえ、①、②の順にあける。

2 電池を入れる

極性表示に合わせて電池を入れる。（⊖側から先に入れます。）

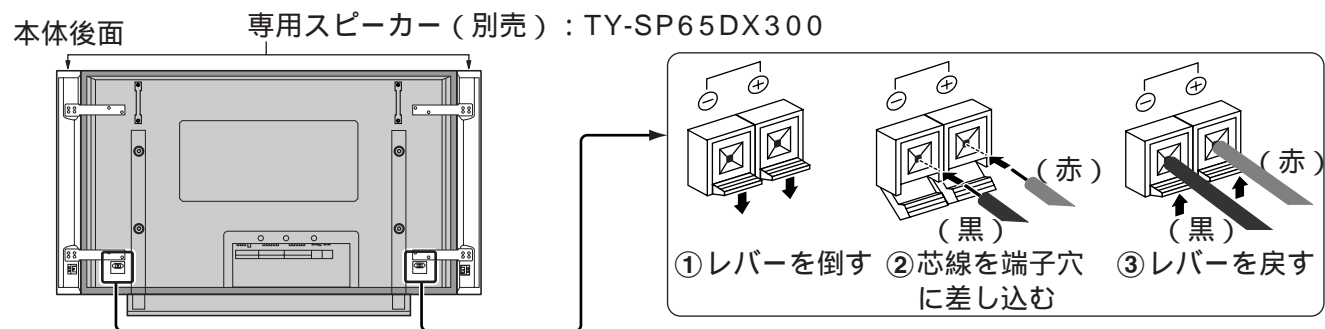
3 ふたをしめる

ふたを元どおりにカチッと音がするまでしめる。

お願い
- リモコンに液状のものをかけないでください。
- リモコンを落とさないでください。

接続

スピーカー端子の接続

- 別売の専用スピーカーをスピーカーに付属の説明書に従って本機に取り付けてください。
  接続は、専用スピーカーに付属のスピーカーコードをご使用ください。

本体後面　専用スピーカー（別売）：TY-SP65DX300

お願い ● ⊕と⊖をショートさせないでください。

接続（つづき）

電源コードの接続と固定、接続ケーブルの固定

接続ケーブルの固定

バンド（付属）で固定するとき

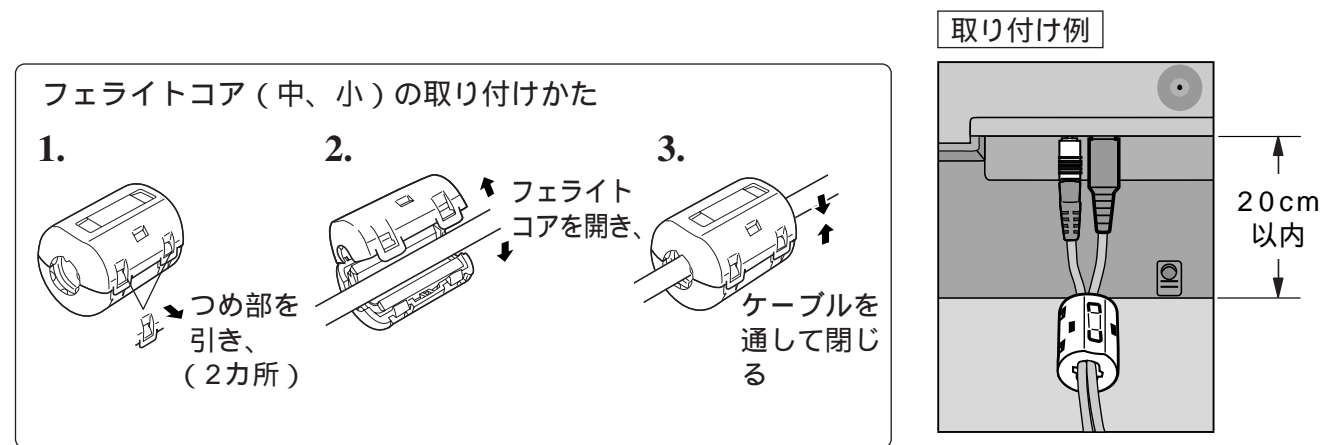
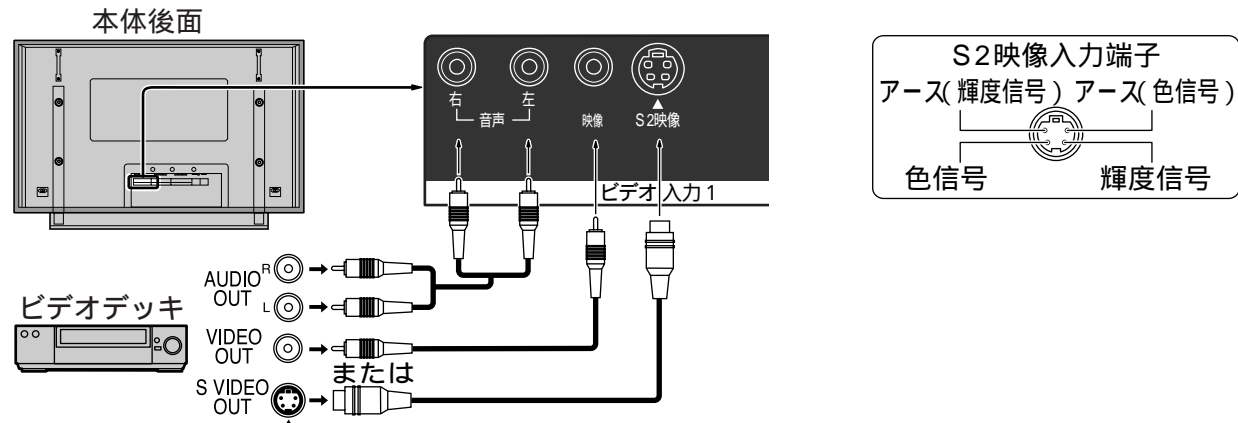
電源コードを少したるませコードに張力がかからないように右側のバンドでしっかり固定してください。
余ったコード類は必要に応じて左側のバンドで固定してください。

はずすとき

フェライトコアの取り付けかた

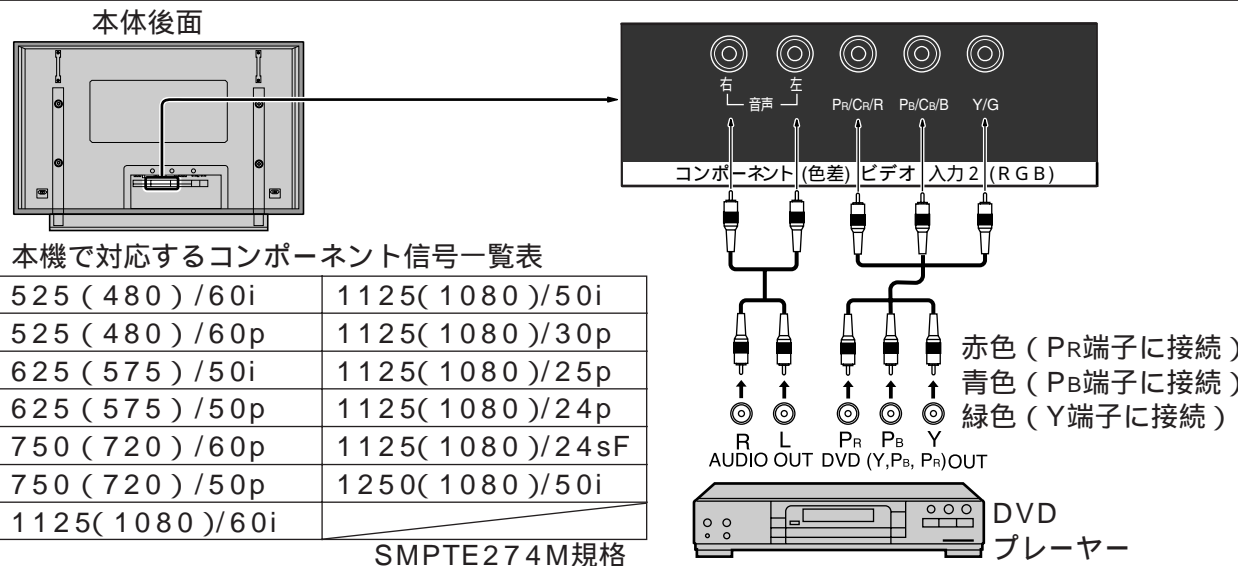
- 入出力信号ケーブルを接続するときは､必ず下記のように付属のフェライトコアを取り付けてください。
- 取り付け位置は、プラズマディスプレイの本体側20cm以内に取り付けてください。
- 入出力信号ケーブルの太さと本数に応じて、付属品のフェライトコア（中、小）をお使いください。

フェライトコア（中、小）の取り付けかた

取り付け例

お知らせ ● フェライトコアを取り付けないでご使用になると、映像・音声にノイズが発生する場合があります。

ビデオ入力端子の接続例

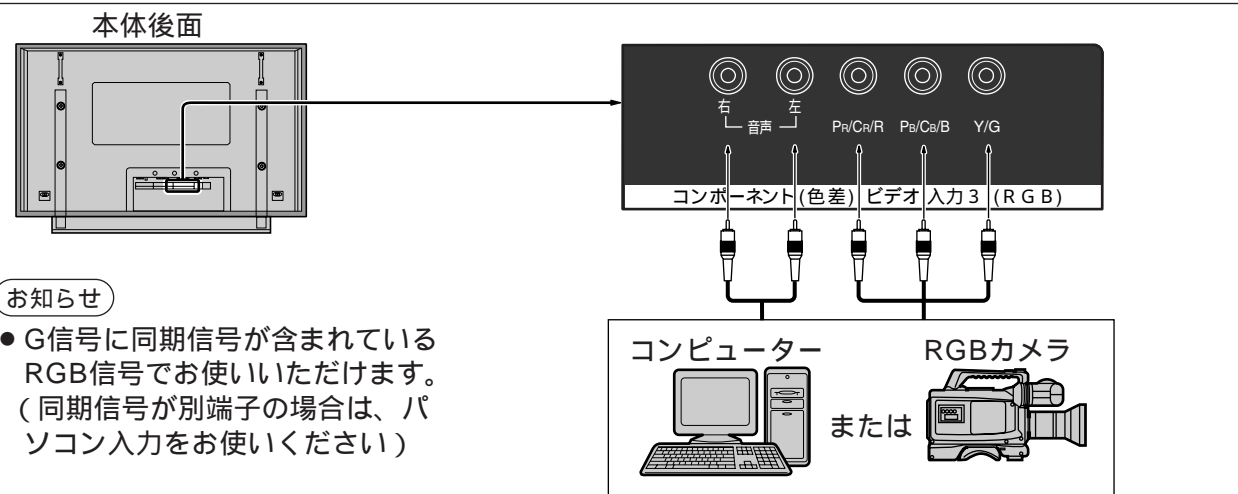
お知らせ
- S2映像入力端子と映像入力端子を同時に接続した場合、S2映像が優先されます。
- ブラウン管の走査を利用した電子銃による光線銃等のゲーム機器はプラズマディスプレイの構造上、使用できません。

コンポーネント(色差)ビデオ入力(RGB)端子の接続例

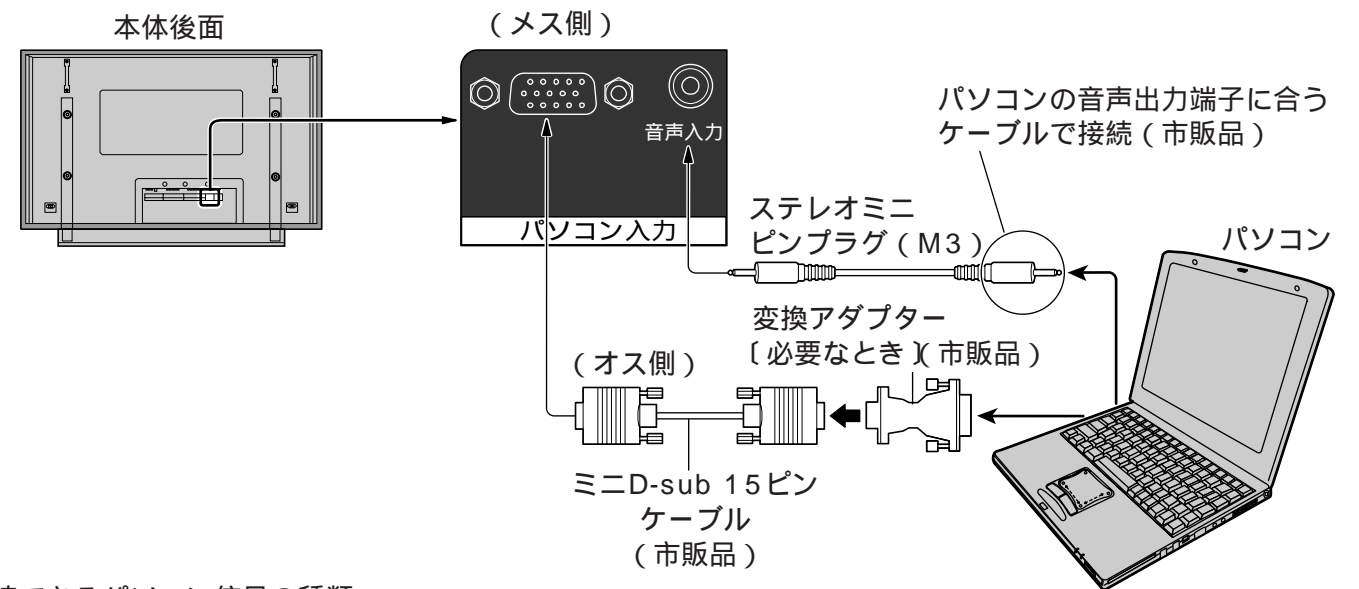
コンポーネント(色差)ビデオ信号の接続例

〈本機で対応するコンポーネント信号一覧表〉

525 (480) /60i	1125(1080)/50i※
525 (480) /60p	1125(1080)/30p※
625 (575) /50i	1125(1080)/25p※
625 (575) /50p	1125(1080)/24p※
750 (720) /60p	1125(1080)/24sF※
750 (720) /50p	1250(1080)/50i※
1125(1080)/60i※	

※SMPTE274M規格

RGB入力信号の接続例

お知らせ
- G信号に同期信号が含まれているRGB信号でお使いいただけます。(同期信号が別端子の場合は、パソコン入力をお使いください)

お願い
- コンポーネント(色差)ビデオ入力(RGB)端子に接続された入力信号に合わせて「初期設定」の「コンポーネント入力切換」で色差ビデオかRGB入力の選択を行ってください。(☞ 34ページ)

パソコン入力端子の接続例

接続できるパソコン信号の種類

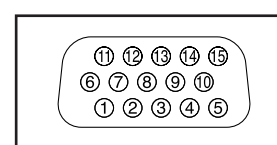
- 本機は、下の表に記載の代表的な 28 種類のパソコン信号について、あらかじめ調整値を記憶しています。表に記載されていないパソコン信号で表示可能なときは、最大 8 種類まで記憶します。
(対応周波数は水平:15 kHz ~110 kHz 、垂直:48 Hz ~120 Hz です。)

〈本体に記憶済みのパソコン信号一覧表〉

640×400:70Hz	800×600:60Hz	1024×768:85Hz	1600×1200:60Hz
640×480:60Hz	800×600:72Hz	1152×864:75Hz	1600×1200:65Hz
640×480:72Hz	800×600:75Hz	1280×960:60Hz	1066×600:60Hz
640×480:75Hz	800×600:85Hz	1280×960:85Hz	1366×768:60Hz
640×480:85Hz	1024×768:60Hz	1280×1024:60Hz	640×480:67Hz (Mac13")
852×480:60Hz	1024×768:70Hz	1280×1024:75Hz	832×624:75Hz (Mac16")
800×600:56Hz	1024×768:75Hz	1280×1024:85Hz	1152×870:75Hz(Mac21")

- 解像度は「ノーマル」で最大1,024×768ドット、「フル」で最大1,366×768ドットの表示が可能です。(WXGA対応)水平または垂直解像度が上記ドットを超えるものは簡易表示になり、細かい表示が十分判読できない場合があります。
- 対応周波数を超える信号を入力すると、正常な映像を表示できません。なお、範囲内でも一部正常な映像を表示できない場合があります。
- パソコンの画面が表示されない場合は、パソコンの映像信号が上記の表に該当しているか、ご確認の上、設定を変更してください。
- ノートパソコンでは、省電力のために映像出力をオフにしており、パソコン上で、ファンクションキーの操作などによりオンにできる場合があります。パソコンの取扱説明書をご確認ください。

お知らせ
- パソコンのモデルによっては、本機と接続できないものもあります。
- PC-98 シリーズ(D-sub15ピン端子の機種)や Macintosh のパソコンを接続する場合には必要に応じて市販の変換アダプターをお使いください。
※パソコンのミニD-sub15ピン端子が、DOS/V に対応している機種は、変換アダプターは必要ありません。
- この端子(ミニD-sub15ピン)は、コンポーネント(色差)ビデオ信号に対応してます。
- 通常のパソコンの場合は初期設定の「コンポーネント入力切換」でRGBの選択を行ってください。(☞ 34ページ)

パソコン入力端子(ミニD-sub 15ピン)のピン配列と信号名

ピンNo.	信号名	ピンNo.	信号名	ピンNo.	信号名
①	R (PR/CR)	⑥	GND (アース)	⑪	GND (アース)
②	G (Y)	⑦	GND (アース)	⑫	SDA
③	B (PB/CB)	⑧	GND (アース)	⑬	HD/SYNC
④	GND (アース)	⑨	NC (無接続)	⑭	VD
⑤	GND (アース)	⑩	GND (アース)	⑮	SCL

各部の基本説明

リモコン

電源
ディスプレイ本体の電源が「入」のとき、電源を「入」・「切」します。(☞18ページ)

画面表示
入力モード・画面モードなどの各種設定状態を確認します。(☞20ページ)

サラウンド
臨場感のある音声で楽しみます。(☞21ページ)

標準
映像や音声などの調整状態を標準値に戻します。

上・下
メニュー画面で項目を選択します。

画質調整
映像の調整・設定をするメニュー画面を表示します。(☞30ページ)

音声調整
音声の調整・設定をするメニュー画面を表示します。(☞29ページ)

2画面
1画面と2画面（3種類）を切り換えます。(☞24ページ)

左右入換
2画面の左・右画面を入れ換えます。(☞25ページ)

画面位置／サイズ調整
画面位置の移動や、画面サイズの変更をするメニュー画面を表示します。(☞28ページ)

パソコン切換
直接パソコンの画面に切り換えます。(☞19ページ)

入力切換
接続された機器に合わせて選択します。(☞19ページ)

消音
音声を一時的に消します。(☞21ページ)

音量
音量を調整します。(☞20ページ)

戻る
映像、音声などの調整画面、各種機能の設定画面を一つ前の状態に戻します。

決定
メニュー画面で項目を決定します。

左・右
メニュー画面で設定の切り換えやレベルを調整します。

初期設定
各種機能の設定をするメニュー画面を表示します。(☞32〜35ページ)

右画面操作
2画面のとき、右画面の入力切り換えを行います。(☞25ページ)

画面モード
拡大画面を選択します。(☞22ページ)

オフタイマー
自動的に電源を切ります。(☞21ページ)

お願い
● 本体のリモコン受光部とリモコンの間に障害物を置かないでください。
● 本体のリモコン受光部に直射日光やインバータ蛍光灯の強い光を当てないでください。

ディスプレイ本体

前面

電源スイッチ
電源を「入」・「切」します。

リモコン受光部

明るさセンサー（受光部）
映像メニュー「オート」にしたときまわりの明るさに応じて見やすい映像に自動調整するための受光部(☞30ページ)

入力切換ボタン
接続された機器を選択します(☞19ページ)

メニューボタン
メニュー画面を表示します。(☞27ページ)

音量ボタン
音量を調整します。(☞20ページ)／メニュー画面で項目を選択したり、設定の切り換えやレベルを調整します。

決定ボタン
メニュー画面で項目を決定します。／拡大画面を選択します。

電源ランプ
本機の電源ボタンが「入」のとき
リモコンで電源を切る……………………**赤色**
DPMS機能で電源が「切」のとき（☞34ページ）…**橙色**
リモコンで電源を入れる（電源オン）………**緑色**
● 電源が「切」および電源ランプが赤色または橙色、無点灯の場合でも一部の回路は通電状態にあります。

後面

ハンドル

別売の右スピーカーを接続します（☞12ページ）

別売の左スピーカーを接続します（☞12ページ）

固定クランパーで電源コードを固定します（☞13ページ）

バンド（付属）で接続ケーブルを固定します（☞13ページ）

ビデオデッキなどの映像機器を接続します（☞14ページ）

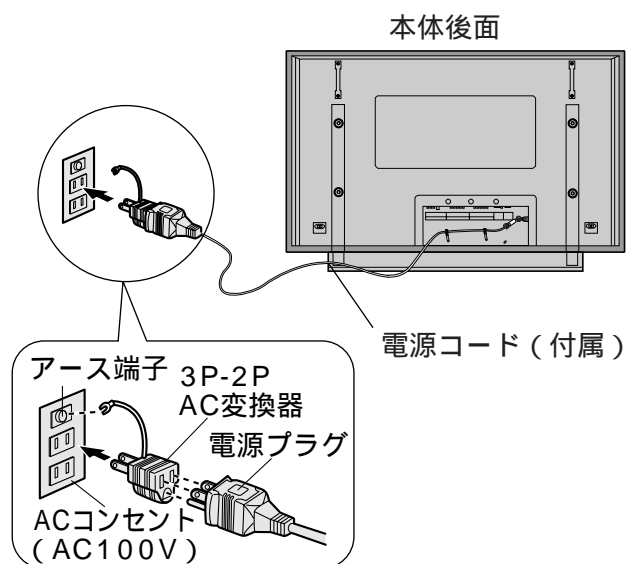
「Y、PB（CB）、PR（CR）」出力のある機器またはRGB出力のある機器を接続します（☞14ページ）

パソコンの映像、音声出力または「Y、PB（CB）、PR（CR）」出力のある機器を接続します（☞15ページ）

工場出荷調整用（通常は使用しません）

各接続端子について
● S2映像入力端子 ………ミニDIN4ピン
● 映像、Y/G、PB/CB/B、PR/CR/R入力端子 ……RCAピンジャック
● 音声右、左端子…………RCAピンジャック
● パソコン入力端子………ミニD-sub15ピン
●（パソコン入力）音声入力…M3ジャック
● シリアル端子 ………………D-sub9ピン

お知らせ ● S2映像入力端子の機能について
S映像、S1映像にも対応します。（音声コードの接続も必要です。）
S映像……良い画像を得るため映像信号を輝度信号と色信号とに分離したもの。
S1映像 …S映像の機能に加え、ワイドテレビ対応ビデオなどからのフル画像は「フル」画面になります。
S2映像 …S1映像の機能に、クリアビジョンのワイド画面機能を追加したもので、S2映像の場合は「ワイド」画面になります。

基本の操作

準備

電源プラグをコンセントへ接続します。（AC 100 V 50 Hz/60 Hz）

※2芯専用のACコンセントの場合、アース工事を行い、3P-2P AC変換器（付属）をご使用ください。

※電源コードを少したるませバンドで固定してください。（☞13ページ）

電源を入れる

本体の電源スイッチを押し電源を「入」にします。

電源ランプが緑色に点灯します。

お知らせ ● 本体の電源が「入」のとき、リモコンで操作ができます。

本機の電源を「入」にした後、しばらくの間、下のように画面表示されます。

初めて電源を「入」にしたとき

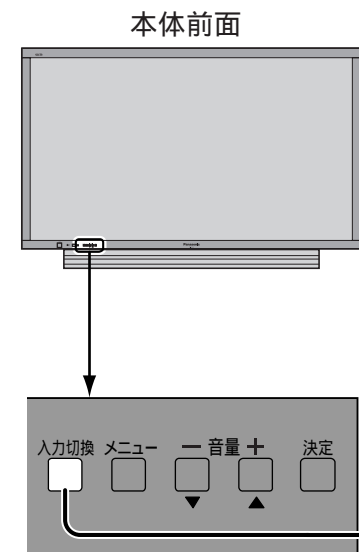
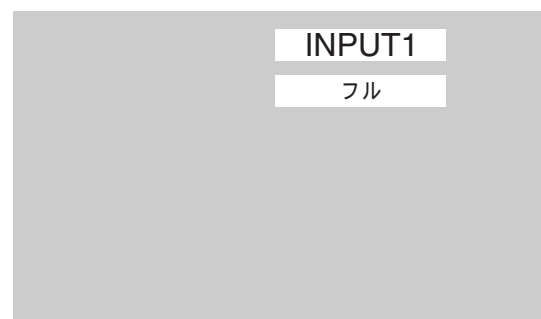
言語選択画面が表示されます。

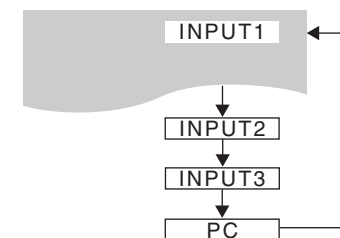
「日本語」が選択（色が変わっています）されていることを確認して、■決定 を押す。

※この画面は一度設定すると、次回からは表示されません。

- この取扱説明書は、日本語の画面で説明しています。
- 設定後でも言語の選択ができます。（☞34ページ）

2回目以降に電源を「入」にしたとき

例：

入力信号を切り換える

入力切換 または 入力切換 を押して本機に接続された入力信号を選択します。

INPUT1：ビデオ入力1
INPUT2：コンポーネント（色差）ビデオ入力2（RGB）
INPUT3：コンポーネント（色差）ビデオ入力3（RGB）
PC　　：パソコン入力

※押すごとに切り換わります。

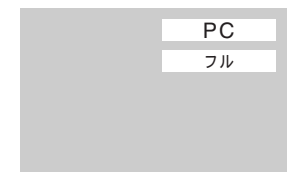
- 「入力表示書換設定」で設定した信号名を表示します。（☞34ページ）
- コンポーネント（色差）ビデオ、RGBの切り換えは、接続した機器に合わせて初期設定の「コンポーネント入力切換」で設定します。（☞34ページ）
- ビデオ入力は「NTSC」「PAL」「SECAM」などのカラーシステム方式の切り換えができます。（☞33ページ）
- 入力信号が切り換わった場合は、自動的に フル 画面表示する信号があります。（☞22ページ）

本体前面

入力切換　メニュー　− 音量 ＋　決定

パソコン画面に切り換える

PC を押します。

パソコン入力端子に接続したパソコン画面になります。

お知らせ ● 静止画を長時間映すと、プラズマディスプレイパネルに映像の焼き付き（残像現象）を起こす恐れがあります。これを防止するため、画面を少し暗くする機能（☞39ページ）が働きますが十分ではありませんのでご注意ください。
このような現象を軽減するため、スクリーンセーバー機能のご利用をおすすめします。（☞35ページ）

使いかた

基本の操作（つづき）

音量を調整する

音量（－｜＋）または －音量＋ を押して音量を調整します。

お知らせ
- 電源を「切」にしても現在の音量を記憶しています。

音量 20

本体前面

入力切換　メニュー　－ 音量 ＋　決定

入力信号・画面モードなどを知りたいとき

入力信号・画面モードなどの各種設定状態の確認ができます。

画面表示 を押すと現在の入力信号と画面モードを約3秒間表示します。

INPUT1
ジャスト

画面モード
（☞22ページ）

入力信号

その後、オフタイマーと消音が動作中の場合はオフタイマーの残り時間を約3秒間、消音を約10秒間表示します。

消音　オフタイマー 90

オフタイマー残り時間
（☞21ページ）

消音 （☞21ページ）

- 選択している入力に映像信号がない場合は、最後に「無信号」が約30秒間表示されます。

サラウンドを使う

臨場感のある音声で楽しむことができます。

サラウンド を押します。

押すごとに「オフ」「オン」となります。

お知らせ
- 「音声の調整」メニューの「サラウンド」でも「オフ」「オン」の設定ができます。
（☞29ページ）

消音を使う

一時的に音声を消したいとき、来客や電話などの応対のとき便利です。

消音 を押します。

画面に「消音」の表示が出て、音が消えます。再度押すと解除されます。

消音

お知らせ
- 電源の「切」、「入」または音量を変えても解除されます。
- 消音設定中は、操作後に「消音」の表示が出てお知らせします。

オフタイマーを使う

タイマー設定（30分、60分、90分）で自動的に電源を切ることができます。

オフタイマー を押すごとにタイマー設定時間が選択できます。

- 「0」分を選ぶとオフタイマーは解除されます。
- タイマーが切れる3分前になると残り時間を点滅（赤色）表示した後、電源が切れます。

お知らせ
- オフタイマー残り時間を知りたいときは 画面表示 を押します。
- オフタイマー動作中に停電などで電源が切れると、オフタイマーは解除されます。

使いかた

映像に合わせた拡大画面にする

画面モード または 決定 を押すごとに切り換わります。

- ビデオ信号入力時は下のように切り換わります。

  ノーマル → ズーム → フル → ジャスト → セルフワイド → ノーマル

- コンポーネント（色差）ビデオ信号入力時に、525（480）/60i・60p、625（575）/50i・50p信号のときは、下のように切り換わります。

  ノーマル → ズーム → フル → ジャスト → ノーマル

  また、1125（1080）/60i・50i・24p・25p・30p・24sF、750（720）/60p・50p、1250（1080）/50i信号のときは フル になります。

- パソコン信号のときは、下のように切り換わります。

  ノーマル → ズーム → フル → ノーマル

- 2画面モード（ノーマルの左・右画面、P in Pの左画面）のときは、下のように切り換わります。

  2画面（ノーマル）　ノーマル ↔ フル

  2画面（P in P）　ノーマル → フル

お知らせ

- 画面モードはINPUT1、INPUT2、INPUT3、PCごとに記憶します。
- **S2映像について**
  S1映像信号が入力されると、フル として動作します。S2映像信号が入力されると、ズーム として動作しますが、画面には ワイド と表示されます。

映像の横縦比（アスペクト）

放送や映像ソフトにより画面の横と縦の比が異なります。

放送・映像ソフト	横縦比
● VHF、UHF放送 （一部のデジタル放送）	4：3
● ハイビジョン放送 ● ワイドクリアビジョン放送 ● ビスタビジョンサイズⅠソフト （一部のデジタル放送）	16：9
● ビスタビジョンサイズⅡソフト	5：3
● シネマビジョンサイズソフト	2.35：1

■映像に合わせて拡大画面にする場合

■自動で拡大画面にする（セルフワイド）

- ノイズの多い映像信号などの場合に、画面がフラッシングする場合があります。そのときは、セルフワイド以外の画面モードを選択してください。（☞22ページ）
- セルフワイドで映像拡大中は、画面位置/サイズの調整（☞28ページ）で垂直位置、垂直サイズを調整しても記憶されません。
  映像拡大が解除されたときは、調整前の垂直位置と垂直サイズに戻ります。

お知らせ

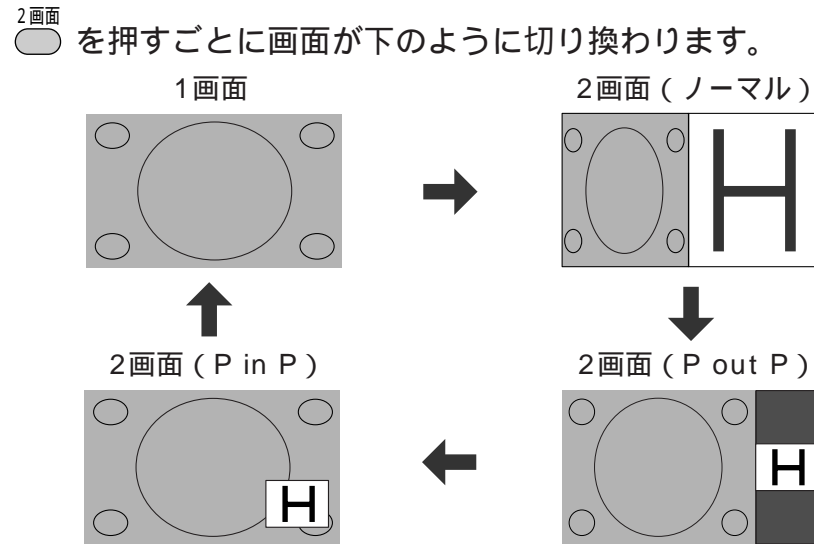
- このディスプレイは、各種の画面モード切り換え機能を備えています。テレビ番組等ソフトの映像比率と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見え方に差が出ます。この点にご留意の上、画面モードをお選びください。
- ディスプレイを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、画面モード切り換え機能（ズーム等）を利用して、画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。
- ワイド映像でない従来（通常）の4：3の映像をズーム・ジャスト・フルモードを利用して、ディスプレイの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像は、ノーマルモードでご覧になれます。

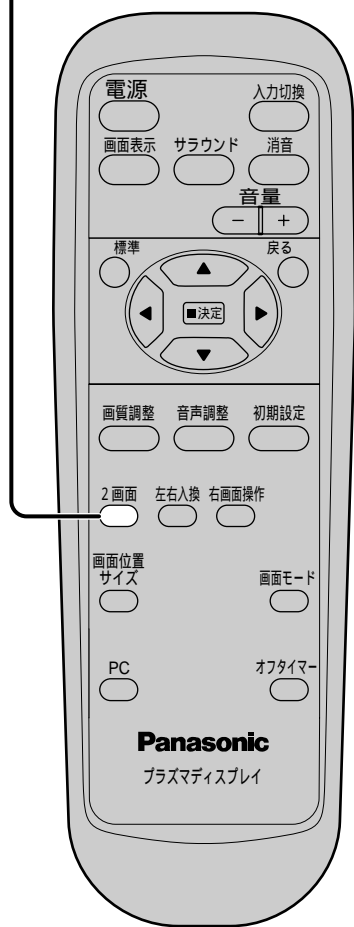
使いかた

2画面で表示する

ビデオ映像とパソコン画像などを2画面で表示します。(リモコンで操作してください。本体前面ボタンでは操作できません。)

2画面に切り換える

2画面 を押すごとに画面が下のように切り換わります。

お知らせ
- 左画面と右画面は、別々の回路で処理を行うため、映像の鮮明さに若干の差があります。また、左画面に表示する信号の種類や2画面の表示モードによっても、右画面の画質に差が生じる場合があります。
- 左画面と右画面で同じ入力信号の映像は映せません。
- テレビゲームを2画面で楽しむときは、テレビゲームを左画面にしてください。(映像の乱れを防ぐため)
- 音声は、左画面の内容が出力されます。
- 左右画面共に画質の調整等は左画面の設定内容で出力されます。
- パソコンの2画面は簡易表示になり、細かい表示が十分判読できない場合があります。

お願い
- 2画面で長時間表示しないでください。焼き付きの原因になります。

■**1125i**(1080i)、**750p**(720p)、**525p**(480p)、**525i**(480i)**とは(代表的な映像信号についての説明です)**

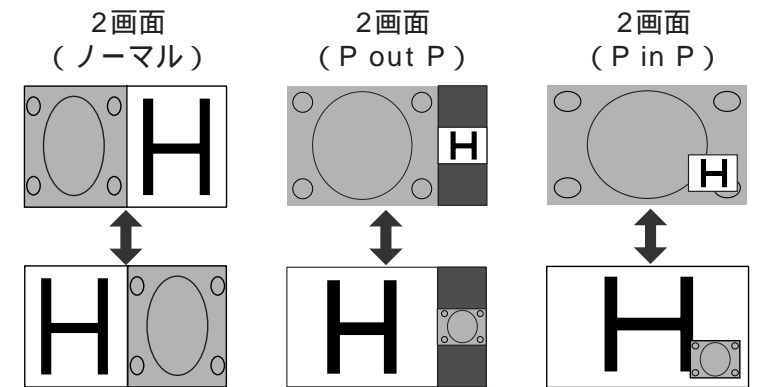
- 映像信号の総走査線数(有効走査線数)と走査方式の略称を表しています。
- 映像は1コマの画像を走査線と呼ばれる細い横線に分解して送られ、受信する機器側で元の画像に組み立てて表示します。走査線数が多いほど、高精細に表示されます。
- 有効走査線数は、絵柄部分の走査線数のことをいいます。インターレース(飛び越し走査)は、1行おきに走査する方式です。プログレッシブ(順次走査)は、上から順に走査する方式で、インターレースよりちらつきの少ない画像になります。

名　称	走査線数	有効走査線数	走査方式
1125i	1125本	1080本	インターレース
750p	750本	720本	プログレッシブ
525p	525本	480本	プログレッシブ
525i	525本	480本	インターレース

※これらの中で、1125iと750pをデジタルハイビジョン信号と呼びます。

画面を入れ換える

左右入換 を押すごとに左画面と右画面の映像が入れ換わります。

(☞22ページ)

右画面の入力信号を切り換える

右画面操作 を押すと、約3秒間右画面操作になります。
この間に 入力切換 、PC を押すと右画面が切り換わります。

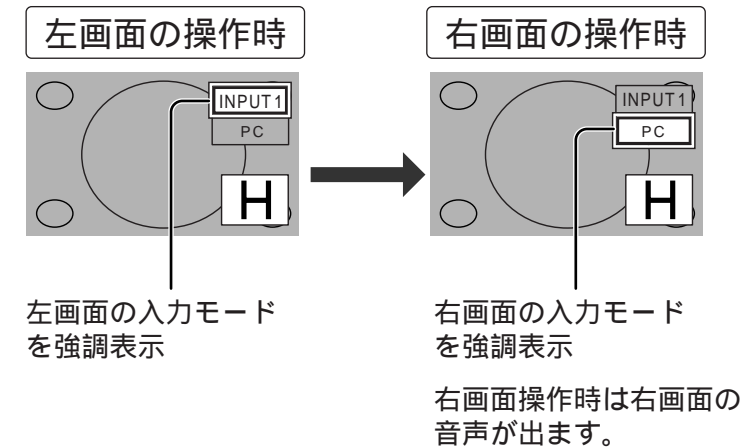
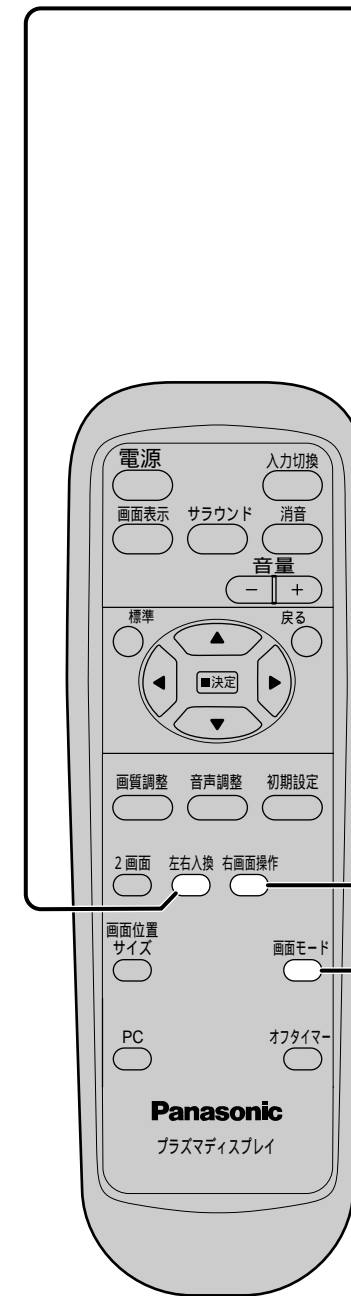
例）2画面（P in P）のとき

左画面の操作時　→　右画面の操作時

INPUT1 / PC

左画面の入力モードを強調表示

右画面の入力モードを強調表示

右画面操作時は右画面の音声が出ます。

- 約3秒経過すると、左画面操作に自動的に戻ります。

使いかた

オンスクリーンメニューについて

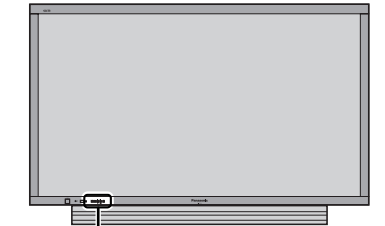
メニュー画面一覧（リモコンボタンで操作する）

本機の各種設定、調整および変更はメニュー操作で行います。本機のメニュー構成は下図のとおりです。

各メニューで表示される画面は、入力および設定により異なります。

INPUT1：ビデオ（Sビデオ）
INPUT2 / INPUT3 / PC：コンポーネント（色差）ビデオ／RGB（コンポーネント（色差）ビデオまたはRGBのどちらかを選択できます（☞34ページ））

（本体前面ボタンで操作する）

本機は、本体前面ボタンからメニュー操作ができます。

押すたびにメニュー画面が下図のように切り換わります。

初期設定（☞32～35ページ）

信号モード（☞32ページ）

● ビデオ（Sビデオ）選択時

信号モード	［ビデオ］
3次元Y/C（NTSC）	オフ
カラーシステム	オート
デジタルシネマリアリティ	オフ
セルフワイド設定	ジャスト
NR	オフ

音声の調整（☞29ページ）

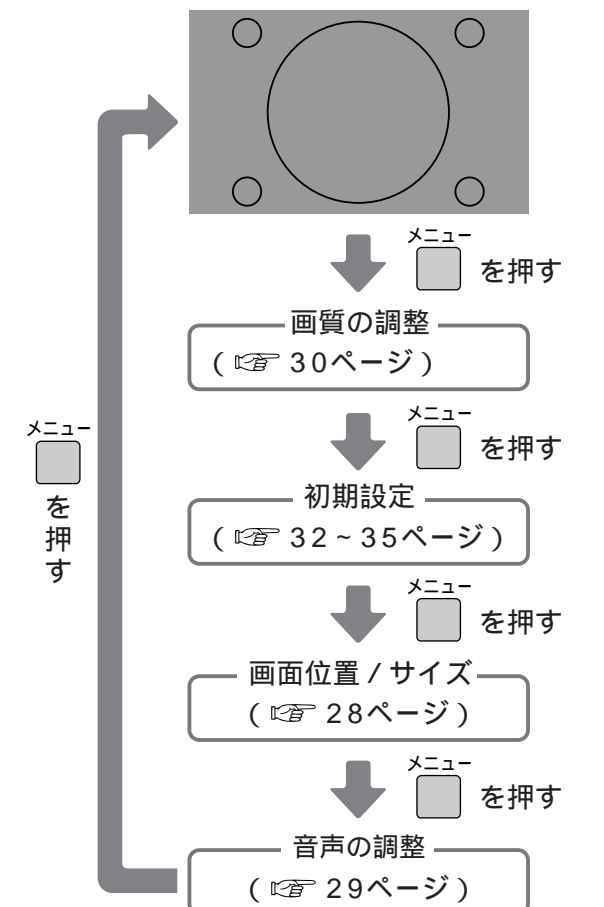
音声の調整	
標準に戻す	標準設定中
音声メニュー	スタンダード
バス	0
トレブル	0
バランス	0
サラウンド	オフ

画面位置／サイズ（☞28ページ）

● ビデオ（Sビデオ）／コンポーネント（色差）ビデオ選択時

画面位置／サイズ
- 標準に戻す
- 水平位置
- 水平サイズ
- 垂直位置
- 垂直サイズ

● RGB選択時

画面位置／サイズ
- 標準に戻す
- 水平位置
- 水平サイズ
- 垂直位置
- 垂直サイズ
- クロック位相

お知らせ
- メニュー画面の下に表示されるボタン操作の案内に従い設定、調整および変更を行ってください。
- リモコンボタンで操作を始めたときは、最後までリモコンで操作してください。
  途中で本体前面ボタンの操作を行うと、正しく設定、調整されない場合があります。
  また本体前面ボタンで操作を始めたときも同様に最後まで本体前面ボタンで操作してください。
- 「画質の調整」メニュー画面は2ページ構成です。メニューの最下段の項目から ▼ または ▼ を押すと次のページに変わります。
- 戻る を押すと1つ前の画面に戻ります。

使いかた

画面位置／サイズの調整

まず、リモコンの 入力切換 または本体前面の 入力切換 を押して、調整したい入力を選び信号を入力する。

	リモコン操作	本体前面操作
1	画面位置サイズ を押して、メニュー画面を表示する。[画面位置／サイズの調整]	メニュー を数回押す。
2	を押して、調整項目を選択する。	❶を押す。❷を押す。
3	を押して、調整をする。 標準 を押すと調整値が標準値に戻ります。	❶を押す。❷を押す。
4	画面位置サイズ を押して、調整を終了する。	メニュー を数回押す。

●「画面位置／サイズ」メニュー画面

お知らせ
- 「画面位置／サイズの調整」はINPUT1、INPUT2、INPUT3、PCごとに記憶します。
- 2画面のときは、調整できません。
- 調整のときに画像表示エリア外にノイズが出る場合がありますが、異常ではありません。
- セルフワイドで映像拡大中に垂直位置、垂直サイズを調整しても記憶しません。(☞22ページ)
- 戻る を押すと1つ前の画面に戻ります。

音声の調整

	リモコン操作	本体前面操作
1	音声調整 を押して、メニュー画面を表示する。[音声の調整]	メニュー を数回押す。
2	を押して、調整項目または設定項目を選択する。	❶を押す。❷を押す。
3	を押して、調整または設定をする。 標準 を押すと調整値と設定値が標準値に戻ります。	❶を押す。❷を押す。
4	音声調整 を押して、調整または設定を終了する。	メニュー を数回押す。

●「音声の調整」メニュー画面

お知らせ
- 「バランス」はすべての入力に共通で、1種類のみ記憶されます。
- 「バス」「トレブル」「サラウンド」は「音声メニュー」の「スタンダード」「オート」ごとに記憶されます。
- サラウンドはリモコンの サラウンド でも「オン」「オフ」の設定ができます。(☞21ページ)
- サラウンドの設定は「音声メニュー」の「スタンダード」「オート」ごとに記憶します。
- 戻る を押すと1つ前の画面に戻ります。

使いかた

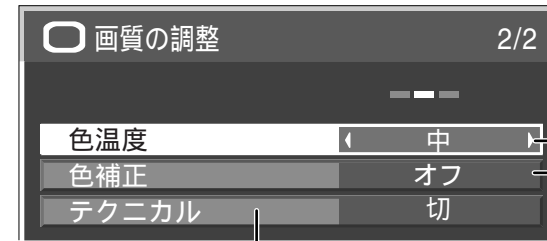
画質の調整

まず、リモコンの 入力切換 または本体前面の 入力切換 を押して、調整したい入力を選び信号を入力する。

	リモコン操作	本体前面操作
1	画質調整 を押して、メニュー画面を表示する。[画質の調整]	メニュー を数回押す。
2	▲▼ を押して、調整項目または設定項目を選択する。「画質の調整」のメニューは2ページ構成です。メニューの最下段の項目からさらに ▼ を押すと次のページに変わります。	－音量＋ ❶を押す。決定 ❷を押す。
3	◀▶ を押して、調整または設定をする。標準 を押すと調整値と設定値が標準値に戻ります。	－音量＋ ❶を押す。決定 ❷を押す。
4	画質調整 を押して、調整または設定を終了する。	メニュー を数回押す。

●「画質の調整」メニュー画面

2／2ページの説明は次のページへ

お知らせ
- 「映像メニュー」はINPUT1、INPUT2、INPUT3、PCごとに記憶します。
- 「ピクチャー」を明るい画像で上げても変化しません。また暗い画像で下げてもわずかしか変化しません。
- 「色の濃さ」「色あい」は、INPUT2、INPUT3、PCでは「コンポーネント入力切換」で「色差ビデオ」を選択した場合に調整できます。
- 戻る を押すと1つ前の画面に戻ります。

テクニカル調整

	リモコン操作	本体前面操作
1	◀▶ を押して、「入」にする。 テクニカル 入 ▼ マークが表示されます	－音量＋ 押す。
2	▼ を押す。	－ 押す。
3	▲▼ を押して、調整項目または設定項目を選択する。	－音量＋ ❶を押す。決定 ❷を押す。
4	◀▶ を押して、調整または設定をする。	－音量＋ ❶を押す。決定 ❷を押す。

●「テクニカル」サブメニュー画面

お知らせ
- 調整できない項目は、グレー表示になります。
信号、入力によって調整できる項目が変わります。

初期設定

初期設定メニュー画面で直接、設定できる項目のとき

	リモコン操作	本体前面操作
1	初期設定 を押して、メニュー画面を表示する。[初期設定]	メニュー を数回押す。
2	押して、設定項目を選択する。「初期設定」のメニューは2ページ構成です。メニューの最下段の項目からさらに▼を押すと次のページに変わります。	❶を押す。❷を押す。
3	押して、設定する。	❶を押す。❷を押す。
4	初期設定 を押して、設定を終了する。	メニュー を数回押す。

初期設定メニュー画面

初期設定メニュー
信号モード
スクリーンセーバー
コンポーネント入力切換 RGB
入力表示書換設定 PC
消費電力低減設定 オフ
待機電力低減設定 オン
DPMS機能 オフ
表示言語切換 日本語

「信号モード」「スクリーンセーバー」の設定をするとき

	リモコン操作	本体前面操作
1	初期設定 を押して、メニュー画面を表示する。[初期設定]	メニュー を数回押す。
2	①押して、設定項目を選択する。②押して、決定する。	❶を押す。❷を押す。
3	押して、設定項目を選択する。	❶を押す。❷を押す。
4	押して、設定する。	❶を押す。❷を押す。
5	初期設定 を押して、設定を終了する。	メニュー を数回押す。

信号モード画面の表示例

信号モード [ビデオ]
3次元Y/C (NTSC) オフ
カラーシステム オート
デジタルシネマリアリティ オフ
セルフワイド ジャスト
NR オフ

スクリーンセーバー画面

スクリーンセーバー
スタート
機能選択 白色バー
動作選択 オフ
サイドパネル設定 高

お知らせ
● 戻る を押すと1つ前の画面に戻ります。

信号モード

まず、リモコンの 入力切換 または本体前面の 入力切換 を押して、調整したい入力を選び信号を入力する。

選んだ入力※により表示される画面が異なります。

初期設定メニュー
信号モード
スクリーンセーバー
コンポーネント入力切換 RGB
入力表示書換設定 PC
消費電力低減設定 オフ
待機電力低減設定 オン
DPMS機能 オフ
表示言語切換 日本語

■決定 または 決定 を押す

● 以降は上記の「信号モード」「スクリーンセーバー」の設定をするときの手順3から各項目の選択や設定を行ってください。

ビデオ（Sビデオ）選択時

信号モード [ビデオ]
3次元Y/C (NTSC) オフ
カラーシステム オート
デジタルシネマリアリティ オフ
セルフワイド ジャスト
NR オフ

コンポーネント(色差)ビデオ選択時

信号モード [色差ビデオ]
デジタルシネマリアリティ オフ
NR オフ

RGB選択時

信号モード [RGB]
同期 オート
デジタルシネマリアリティ オフ
NR オフ
水平周波数 46.9 kHz
垂直周波数 75.0 Hz

※入力と信号の種別
INPUT1：ビデオ(Sビデオ)
INPUT2
INPUT3 コンポーネント(色差) ビデオ／RGB
PC 切り換えは(☞34ページ)

(操作手順は ☞32ページ)

信号モード（つづき）

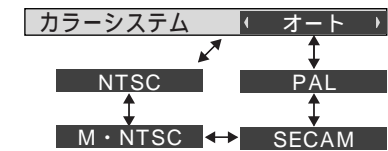
■3次元Y/C（NTSC）

3次元Y/C (NTSC) オン ↔ オフ

ビデオ信号入力時、映像が不自然に見えるときは「オフ」にします。
通常は「オン」でご覧ください。(虹模様や、つぶ状のノイズを低減させます)

お知らせ ● NTSC方式の映像を映しているときに有効です。

■カラーシステム

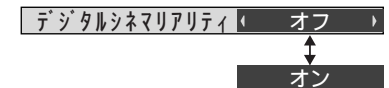
ビデオまたはS ビデオ信号入力時、信号方式が合わず正常な映像にならない場合に方式選択します。

…… NTSC/PAL/SECAMの中から自動選択しますが、M・NTSCは正しく映りません。
M・NTSC の映像をご覧になるときは、M・NTSC に設定してください。

● 通常は「オート」に設定します。入力された信号の方式を自動的に判別します。
● 入力信号が劣化してノイズが多い、または信号レベルが低いときに「オート」に設定すると正常に表示されない場合があります。そのときは入力信号の方式に合わせて設定してください。

信号方式	水平走査周波数(kHz)	垂直走査周波数(Hz)	色副搬送波(MHz)
NTSC	15.73	59.94	3.58
PAL	15.63	50.00	4.43
PAL60※	15.73	59.94	4.43
SECAM	15.63	50.00	4.25または4.41
M•NTSC	15.73	59.94	4.43

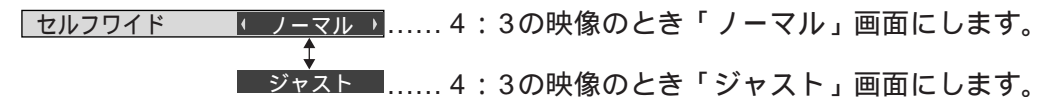
※PAL60のカラーシステムは、M・NTSCで対応しています。

■デジタルシネマリアリティ

映画フィルムで撮影された映像を忠実に再生します。
通常は「オフ」に設定してください。

お知らせ
● デジタルシネマリアリティを「オン」にすると、映画など、毎秒24コマで撮影された動きのある映像がより自然な再生映像でご覧になれます。
●「オン」で不自然な映像になる場合は「オフ」でご覧ください。
● ビデオ（Sビデオ）入力時、NTSCおよびPAL信号に効果があります。
● コンポーネント（色差）ビデオ入力時、525i（480i)、1125（1080）/60i、625i（575i）信号に効果があります。

■セルフワイド設定

4：3の映像をそのままの画面サイズで見るか「ジャスト」画面で見るかを設定します。

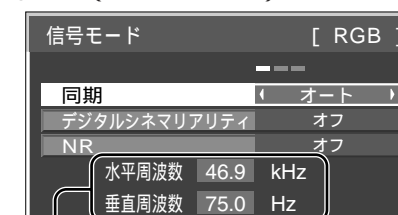
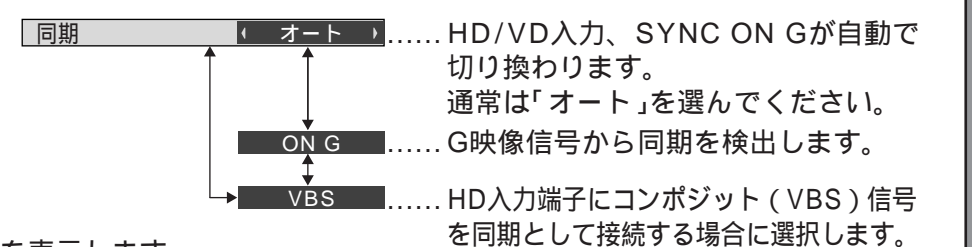
セルフワイド ノーマル …… 4：3の映像のとき「ノーマル」画面にします。
ジャスト …… 4：3の映像のとき「ジャスト」画面にします。

■NR（ノイズリダクション）

「オン」にすると映像のざらつき感を少なくします。

NR オフ …… NRが無効になります。
オン …… NRが有効になります。

お知らせ ● パソコンRGB信号入力のときは「NR」がグレー表示になり設定できません。

■同期（RGB選択時）

同期 オート …… HD/VD入力、SYNC ON Gが自動で切り換わります。
通常は「オート」を選んでください。
ON G …… G映像信号から同期を検出します。
VBS …… HD入力端子にコンポジット（VBS）信号を同期として接続する場合に選択します。

現在入力している信号の周波数を表示します。
表示範囲： 水平走査周波数（15kHz〜110kHz）
垂直走査周波数（48Hz〜120Hz）

お知らせ ● PC入力選択で、RGB選択時のみ、設定できます。

初期設定（つづき）

（操作手順は ☞32ページ）

コンポーネント入力切換

本機のコンポーネント（色差）ビデオ（RGB）入力端子およびパソコン端子に接続された信号に合わせて設定します。

お知らせ ● INPUT2、INPUT3、PCごとに設定してください。

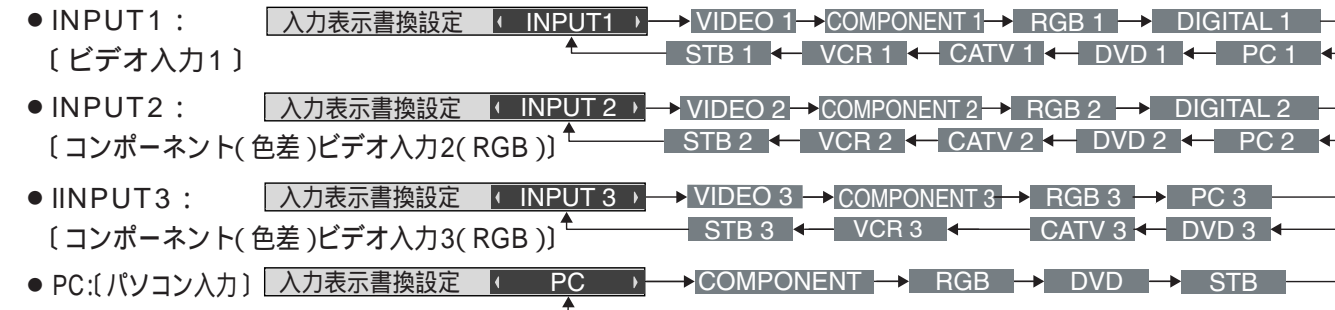
入力表示書換設定

INPUT1、INPUT2、INPUT3、PCの表示を変更します。
まず、入力表示書換を行う入力を選ぶ。

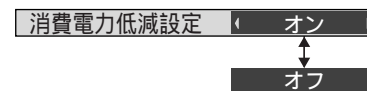
● INPUT1：〔ビデオ入力1〕
入力表示書換設定 INPUT1 → VIDEO 1 → COMPONENT 1 → RGB 1 → DIGITAL 1 → PC 1 → DVD 1 → CATV 1 → VCR 1 → STB 1

● INPUT2：〔コンポーネント（色差）ビデオ入力2（RGB）〕
入力表示書換設定 INPUT 2 → VIDEO 2 → COMPONENT 2 → RGB 2 → DIGITAL 2 → PC 2 → DVD 2 → CATV 2 → VCR 2 → STB 2

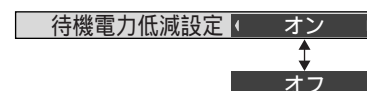
● INPUT3：〔コンポーネント（色差）ビデオ入力3（RGB）〕
入力表示書換設定 INPUT 3 → VIDEO 3 → COMPONENT 3 → RGB 3 → PC 3 → DVD 3 → CATV 3 → VCR 3 → STB 3

● PC：〔パソコン入力〕
入力表示書換設定 PC → COMPONENT → RGB → DVD → STB

消費電力低減設定

本ディスプレイパネルの発光レベル（APL）を抑えて消費電力を低減します。

消費電力低減設定 オン ↕ オフ

待機電力低減設定

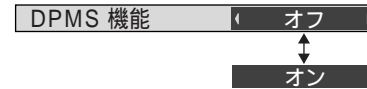
電源スタンバイのときの消費電力を減らして、待機電力を低減します。
●「オン」のときは、「オフ」より電源「入」時に画面が表示するまでに時間がかかることがあります。

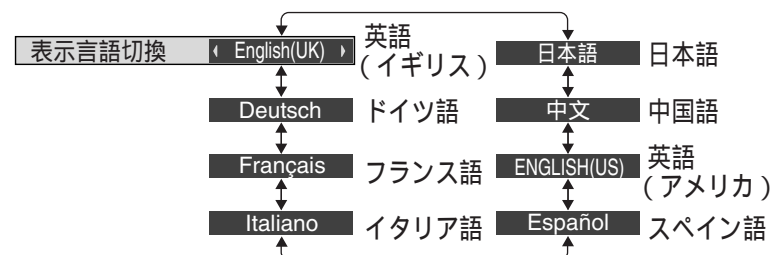
待機電力低減設定 オン ↕ オフ

DPMS機能

パソコン入力に約30秒間、映像（同期）信号が検知されないときに自動的に電源を「スタンバイ」にします。その後、映像（同期）信号が検知されると電源は「入」になります。

DPMS 機能 オフ ↕ オン

本機能により電源が「切」になると電源ランプが橙色に点灯します。

● パソコン入力時のみ動作します。
● 1画面の表示のときのみ動作します。
●「信号モード」の「同期」が「オート」でHD/VD信号が入力されているときに動作します。
● DPMSとは、業界団体VESAによって策定されたディスプレイの電源管理に関する規格です。

表示言語切替

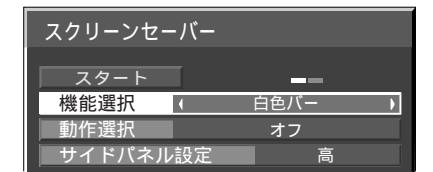
選択された言語で各種メニューや設定、調整画面、操作ボタン名などを表示します。

（操作手順は ☞32ページ）

スクリーンセーバー

静止画や4：3 表示画像を長時間映す場合に残像（焼き付き現象）の発生を軽減します。

■決定 または 決定 を押す

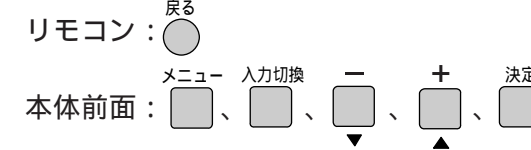
● 以降は「信号モード」「スクリーンセーバー」の設定をするときの手順3から各項目の選択や設定を行ってください。（☞32ページ）

● **スクリーンセーバー画面**

■機能選択

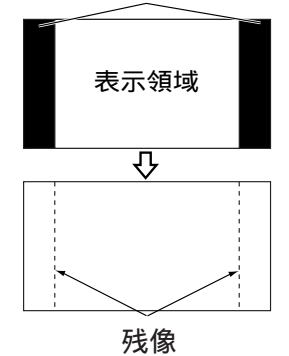
白色バー …… 白色バーが一定間隔で画面の左から右側へ移動して、画面の残像を軽減します。
色反転 …… 白黒反転した映像にして、画面の残像を軽減します。

■動作選択

オフ …… スクリーンセーバーを「オフ」にします。
オン …… スクリーンセーバーを「オン」にします。スタート を選択して、■決定 または 決定 を押すとすぐに動作します。

お知らせ ● スクリーンセーバー動作中に以下のボタンを押すとスクリーンセーバーが解除されます。
リモコン：戻る
本体前面：メニュー、入力切換、－、＋、決定

■サイドパネル設定

オフ …… 両端を暗くしておく。
低 …… 暗めの灰色にする。
中 …… 灰色にする。
高 …… 明るめの灰色にする。

お知らせ ● 画面モードを「ノーマル」（映像の横縦比4：3）で長時間ご覧になると、映像の表示部と両端の映像の映らない部分とで画面の明るさが異なるため、残像（焼き付き現象）が発生します。残像発生の軽減のため「 高 」にしてご覧になることをおすすめします。
● 2画面の映像のない部分も同じく調整できます。

必要なとき

表示可能な入力信号

ビデオ入力1

	信号名	水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）
1	NTSC	15.73	59.94
2	PAL	15.63	50.00
3	PAL60	15.73	59.94
4	SECAM	15.63	50.00
5	M・NTSC	15.73	59.94

コンポーネント（色差）ビデオ入力2、3（RGB）／パソコン入力（* 表示可能な入力信号）

	信号名	水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）	コンポーネント（色差）ビデオ入力2、3（RGB）		パソコン入力（RGB）
				色差ビデオ	RGB	
1	525 (480) / 60i	15.73	59.94	*	*	*
2	525 (480) / 60p	31.47	59.94	*	*	※1
3	625 (575) / 50i	15.63	50.00	*	*	*
4	625 (575) / 50p	31.25	50.00	*	*	*
5	750 (720) / 60p	45.00	60.00	*	*	*
6	750 (720) / 50p	37.50	50.00	*	*	*
7	1,125 (1,080) / 60i	33.75	60.00	*	*	*
8	1,125 (1,080) / 50i	28.13	50.00	*	*	*
9	1,125 (1,080) / 24sF	27.00	47.92	*	*	*
10	1,125 (1,080) / 30p	33.75	30.00	*	*	*
11	1,125 (1,080) / 25p	28.13	25.00	*	*	*
12	1,125 (1,080) / 24p	27.00	24.00	*	*	*
13	1,250 (1,080) / 50i	31.25	50.00	*	*	*
14	640 × 400 @70 Hz	31.46	70.07		*	*
15	640 × 480 @60 Hz	31.47	59.94		※2	*
16	640 × 480 @72 Hz	37.86	72.81		*	*
17	640 × 480 @75 Hz	37.50	75.00		*	*
18	640 × 480 @85 Hz	43.27	85.01		*	*
19	852 × 480 @60 Hz	31.47	59.94		※2	*
20	800 × 600 @56 Hz	35.16	56.25		*	*
21	800 × 600 @60Hz	37.88	60.32		*	*
22	800 × 600 @72 Hz	48.08	72.19		*	*
23	800 × 600 @75 Hz	46.88	75.00		*	*
24	800 × 600 @85 Hz	53.67	85.06		*	*
25	1,024 × 768 @60 Hz	48.36	60.00		*	*
26	1,024 × 768 @70 Hz	56.48	70.07		*	*
27	1,024 × 768 @75 Hz	60.02	75.03		*	*
28	1,024 × 768 @85 Hz	68.68	85.00		*	*
29	1,152 × 864 @75 Hz	67.50	75.00		*	*
30	1,280 × 960 @60 Hz	60.00	60.00		*	*
31	1,280 × 960 @85 Hz	85.94	85.00		*	*
32	1,280 × 1,024 @60 Hz	63.98	60.02		*	*
33	1,280 × 1,024 @75 Hz	79.98	75.03		*	*
34	1,280 × 1,024 @85 Hz	91.15	85.02		*	*
35	1,600 × 1,200 @60 Hz	75.00	60.00		*	*
36	1,600 × 1,200 @65 Hz	81.25	65.00		*	*
37	1,066 × 600 @60 Hz	37.88	60.32		*	*
38	1,366 × 768 @60 Hz	48.36	60.00		*	*
39	Macintosh13” (640 × 480)	35.00	66.67		*	*
40	Macintosh16” (832 × 624)	49.72	74.54		*	*
41	Macintosh21” (1,152 × 870)	68.68	75.06		*	*

※1　パソコン入力に525p信号を入力し、RGBを選択した場合、VGA 60 Hzとして認識します。
※2　パソコン入力以外の入力ポートにVGA 60 Hzの信号が入力された場合、525pとして認識します。

仕様

本体	品番		TH-65DX300（65V型）
	種類		ハイビジョンプラズマディスプレイ
	使用電源		AC100 V　50 Hz／60 Hz
	消費電力		635W 本体電源　「切」時　約 0.3 W リモコンで電源「切」時　約 0.8 W（待機電力低減設定「オン」） 約 1.0 W（待機電力低減設定「オフ」）
	音声実用最大出力		20 W（10W ＋ 10W）JEITA［専用スピーカーを使用］
	プラズマディスプレイパネル		駆動方式AC型 65V型（アスペクト比16：9）
	画面寸法		幅 143.4 cm　高さ 80.6 cm　対角164.5 cm
	画素数		1,049,088画素（水平1,366×垂直768）［ドット数4,098×768］
	動作使用条件		温度：0 ℃～40 ℃
	接続端子	ビデオ入力1	映像（RCAピンジャック）：1 V [p-p]（75 Ωまたはハイインピーダンス：自動切換） S2映像（ミニDIN 4ピン）　Y：1 V [p-p]（75 Ω） C：0.286 V [p-p]（75 Ω） 音声 左・右（RCAピンジャック×2）：0.5 V [rms]（ハイインピーダンス）
		コンポーネント（色差）ビデオ入力2、3（RGB）	Y/G（RCAピンジャック）：1 V [p-p]（75 Ω）同期信号を含む PB・PR/CB・CR（RCAピンジャック）：0.7 V [p-p]（75 Ω） R/B（RCAピンジャック）：0.7 V [p-p]（75 Ω） 音声 左・右（RCAピンジャック×2）：0.5 V [rms]（ハイインピーダンス）
		パソコン入力	WXGA対応：マルチスキャン方式（DDC1/2B対応） ＊対応周波数：水平15 kHz～110 kHz　垂直48 Hz～120 Hz （ただし表示ドットがWXGA規格を超える信号は簡易表示） Y/G：1 V [p-p]（75 Ω）同期信号を含む PB・PR/CB・CR：0.7 V [p-p]（75 Ω） R/B：0.7 V [p-p]（75 Ω） HD、VD（ミニD-sub15ピン）：1.0～5.0 V [p-p]（ハイインピーダンス） AUDIO（M3ジャック）左・右：0.5 V [rms]（ハイインピーダンス）
		外部スピーカー端子	左・右（8 Ω）
	外形寸法		●幅 155.4 cm　高さ 92.5 cm　奥行9.9 cm（据置きスタンド、ハンドルを除く） ●幅 155.4 cm　高さ 101.2 cm　奥行39.3 cm（据置きスタンドを取り付け時）
	質量		81.5 kg（据置きスタンドを除く）、109 kg（据置きスタンドを取り付け時）
	キャビネット材質		前面：金属製（アルミ）、バックカバー：金属製（アルミ）
リモコン	品番		EUR646534
	使用電源		DC 3 V（単3形乾電池2コ）
	操作距離		約 7 m以内（プラズマディスプレイ正面距離）
	使用範囲		受光部左右：各約30°以内、受光部上下：各約20°以内
	質量		約 130 g（乾電池含む）

● ディスプレイのV型（65V型）は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
● 本機を使用できるのは、日本国内のみで外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
(This set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)
● 本製品は「JIS C 61000-3-2適合品」です。

商標について

● VGA、XGA は米国 International Business Machines Corporation の商標です。
● Macintosh は米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
● PC-98は日本電気（株）の商標です。
なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

故障かな！?

症　状	原　因　と　処　置	ページ
画面に光らない点がある	●プラズマディスプレイパネルは非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部に光らない点や常時点灯する点が存在する場合があります。 これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。	−
電源が入らない	●電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ ●リモコンの場合は、ディスプレイ本体の電源が「入」になっていますか？	− 18
リモコンが操作できない	●電池が消耗していたり、電池の極性が違っていませんか？ ●リモコン受光部に蛍光灯の光など強い照明が当たっていませんか？	− −
ディスプレイ本体から「ヒュンヒュン」と音がする	●本機は静音タイプの冷却用ファンを搭載していますが、夜間など静かな環境ではファンの風切り音が聞こえる場合があります。 排気孔からのほこりが壁に付着することもありますので、設置場所にご注意願います。	−
内部から音がする	●電源を入れると、ディスプレイパネルの駆動音が聞こえる場合がありますが、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。	−
ディスプレイから時々、「ピシッ」と音がする	●画面や音声に異常がない場合、室温の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他に影響ありません。	−
ディスプレイ本体の一部が熱くなる	●天面や背面の一部は温度が高くなっておりますが、品質、性能には異常ありませんので、あらかじめご了承ください。	−
残像が発生する	●ビデオやパソコンなどの静止画像などを長時間映したままにしておくと、焼付き（残像）が発生する場合があります。この場合、テレビ番組など、動きのある映像でしばらくお使いいただくと、次第に軽減されます。	−
映像が出るまでに時間がかかる	●本機は美しい映像を再現させるため各種信号をデジタル処理しておりますので、電源を入れたとき、入力を切り換えたときおよび2画面の左右の映像を入れ換えたときに映像が出るまでに少し時間がかかる場合があります。	−

症　状	原　因　と　処　置	ページ
画面にはん点が出たり、画面が揺れる	●自動車や電車、高圧線、ネオンなどからの影響（妨害電波や誘導電磁波）を受けていませんか？	−
映像の輪郭がチラチラする	●パネルの駆動方式による特性上、動きのある映像部分で輪郭がチラチラするように見えることがありますが、故障ではありません。	−
色模様が出たり色が消える	●他のテレビから影響（妨害電波）を受けていませんか。 本機の設置場所を変えると良化することもあります。	−
色が極端に悪い	●コンポーネント入力切換の「色差ビデオ」、「 RGB 」は正しく選択されていますか。	34
色あいが悪い、色が薄い	●色の濃さ、色あいの調整がずれていませんか。 （映像の調整値をご確認ください。）	30
1画面（ノーマル）や2画面（ノーマル）などの黒帯（ブランク）部分の明るさが変わる	●「サイドパネル設定 」を「高」または「中」にして見ていると、番組内容によっては両端部分の明るさが変化する場合があります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。	35
動きの少ない明るい映像のときに画面が少し暗くなる	●写真やパソコンの静止画像など動きの少ない明るい映像を長い間表示すると画面がやや暗くなります。 これは、画面の焼き付きや寿命の劣化を軽減するためで、故障ではありません。	−
画面の上下に映像のない部分ができる	●16：9より横長の映像ソフト（シネマビジョンサイズのソフトなど）のときは、画面の下や上下に映像のない部分ができることがあります。	−
ズームやジャストにすると画面の上下が欠ける	●画面の位置調整がずれていませんか？ →画面の位置を調整してください。	28
「セルフワイド」のとき画面のサイズがときどき変わる	●最初暗いシーンのときは、しばらく自動拡大しないことがあります。 ●4：3映像でも上下が暗いシーンでは、自動拡大することがあります。 →気になる場合は手動で画面モードを設定してください。	22
セルフワイドで画面のサイズが変わったとき、一瞬画面が暗くなる	●画面が切り換わるときに発生するノイズを見えにくくするために、一瞬画面を暗くしています。	−

How to Use

Basic Operations

- For more detailed instructions on the operation, points of caution, maintenance, what to do in case of malfunction, please contact the place of purchase.

さくいん

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください。

転居や贈答品などでお困りの場合は…

● 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
● 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間
ただし…
●プラズマディスプレイパネルは2年間
●プラズマディスプレイパネルの焼付きは除く

■補修用性能部品の保有期間

当社は、このディスプレイの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

・38・39ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

● **保証期間中は**
保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

● **保証期間を過ぎているときは**
修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。

● **修理料金の仕組み**
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
品　名	ハイビジョンプラズマディスプレイ
品　番	TH-65DX300
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

修理に関するご相談

ナショナル／パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号）　0570-087-087

• お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
• 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
• 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル／パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話　フリーダイヤル　0120-878-365（パナは 365日）
■携帯電話・PHSでのご利用は…06-6907-1187
FAX　フリーダイヤル　0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan
〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉
Tokyo (03) 3256-5444　**Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

ナショナル／パナソニック 修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号）　0570-087-087

• お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
• 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

北海道地区

	所在地	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	(011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	(0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	(0138)48-6631

東北地区

	所在地	電話
青森	青森市第二問屋町3-7-10	(017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	(018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	(019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	(022)387-1117
山形	山形市流通センター3丁目12-2	(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ﾉ内65	(0243)34-1301

首都圏地区

	所在地	電話
栃木	宇都宮市御幸町194-20	(028)689-2555
群馬	高崎市大沢町229-1	(027)352-1109
茨城	つくば市花畑2丁目8-1	(029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	(048)728-8960
千葉	千葉市中央区星久喜町172	(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	(025)286-0171

中部地区

	所在地	電話
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	(0263)86-9209
静岡	静岡市西島765	(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	(059)255-1380

近畿地区

	所在地	電話
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ﾉ緒町3丁目2-6	(078)272-6645

中国地区

	所在地	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	(0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	(086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	(082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	(083)986-4050

四国地区

	所在地	電話
香川	高松市勅使町152-2	(087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	(088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	(088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	(089)971-2144

九州地区

	所在地	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	(099)250-5657
大島	名瀬市長浜町10-1	(0997)53-5101

沖縄地区

	所在地	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0104